

# 計算書類に対する注記(本部)

## 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
・建物、構築物、器具及び備品及びソフトウェア一定額法  
・リース資産—該当なし
- (3) 引当金の計上基準  
・退職給付引当金—該当なし  
・賞与引当金—該当なし

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

該当なし

## 4. サービス区分が作成する計算書類

当サービス区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) サービス区分貸借対照表

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	16,241,400			16,241,400
建物	33,655,155		1,622,400	32,032,755
合計	49,896,555		1,622,400	48,274,155

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

該当なし

円  
計 円

該当なし

円  
計 円

## 8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

## 計算書類に対する注記(本部)

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	38,628,583	6,595,828	32,032,755
その他の固定資産			
構築物	378,000	86,436	291,564
器具及び備品	1,410,176	937,988	472,188
合計	40,416,759	7,620,252	32,796,507

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし			
合計			

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計			

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし